

都市再生整備計画 事後評価シート

東浦南部地区

平成24年12月

愛知県知多郡東浦町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	東浦町		地区名	東浦南部地区			面積	305 ha	
交付期間	平成20年度 ~ 平成24年度		事後評価実施時期	平成24年度		交付対象事業費	1,136百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(町道藤江線、町道藤江225号線、町道藤江80号線、町道石浜183号線)									
		提案事業	地域創造支援事業(道路(町道藤江93号線)、水路整備事業(浜田水路改修工事)、耐震補強事業(藤江消防分団詰所))、事業活用調査(事業効果分析調査)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	-		-		-		-		-	
		提案事業	まちづくり活動推進事業(まちづくり協議会支援事業)		提案事業から関連事業に変更し、平成27年度以降の地区の整備に関して住民等から意見を把握するため。		-		-		関連事業として実施するため、影響はない。	
	新たに追加した事業	基幹事業	-		-		-		-		-	
		提案事業	-		-		-		-		-	
交付期間の変更	当初	平成20年度 ~ 平成24年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-		-		-		
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	道路・交通に関する住民満足度	%	7.7	H15 15.0	H24	モニタリング	評価値	○	あり	事業により道路の整備が進捗し、ゆとりある安全な道路が増加したほか、町道藤江線の整備により藤江地区から国道366号へのアクセスが格段に改善され、道路・交通に関する住民満足度が向上した。	平成25年7月
	指標2	防災面に関する住民満足度	%	18.0	H15 30.0	H24			△	あり	藤江消防分団詰所耐震補強事業や、道路の整備等により地区の防災性が向上し、防災面に対する住民満足度が向上した。しかし、藤江消防分団詰所耐震補強事業に対する住民の関心が低く十分に理解がされていなかったことや、東日本大震災の影響等により住民の地震や津波への不安感が高まったため、目標を達成できなかった。	平成25年7月
	指標3	地区内道路整備率(幅員6m以上)	%	32.0	H19 37.6	H24			○	あり	事業により地区内の道路が整備され、幅員6m以上の道路が増加したほか、関連事業の住宅用地造成事業(石浜地区)による道路整備でも幅員6m以上の道路が整備され、地区内道路整備率が上昇した。	平成25年7月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	生活環境の向上度	点	3.0	H19			3.2		事業により、地区内の道路の整備が進捗したほか、関連事業により飛山池周辺地区の緑化重点地区保全事業が完了し、三丁公園の整備が進展しつつあること等により、地域住民が感じる地区の生活環境が事業前と比較して向上した。	平成25年7月	
	その他の数値指標2	-	-	-	-			-		-	-	
	その他の数値指標3	-	-	-	-			-		-	-	
4)定性的な効果発現状況	・道路事業の実施により、歩行者の安全性が確保されるなど、良好な交通環境が形成された。 ・災害時などへの対策の状況について、住民アンケートでは、半数が事業実施前に比べて改善したと回答している。											
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況									今後の対応方針等
	モニタリング	-	都市再生整備計画に記載し、実施できた	-	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	-	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-	-	-	-	
	住民参加プロセス	-	都市再生整備計画に記載し、実施できた	-	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	-	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-	-	-	-	
	持続的なまちづくり体制の構築	-	都市再生整備計画に記載し、実施できた	-	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	-	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-	-	-	-	

様式2-2 地区の概要

東浦南部地区(愛知県知多郡東浦町) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: すべての人が安全で安心して暮らせる うるおいのあるまちを目指す 目標1: 防災面の向上及び良好な交通環境の形成を図る 目標2: 緑豊かで心安らく快適な生活環境の形成を図る		道路・交通に関する住民満足度	単位: %	7.7	H15	15.0	H24	42.0	H24
		防災面に関する住民満足度	単位: %	18.0	H15	30.0	H24	28.0	H24
		地区内道路整備率(幅員6m以上)	単位: %	32.0	H19	37.6	H24	42.2	H24
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 道路整備によるネットワーク強化や、藤江消防分団詰所の耐震補強事業の実施等により、地区の防災面が改善されるとともに、防災面に関する住民満足度が向上した。一方で、藤江消防分団詰所耐震補強事業に対する住民の関心が低く十分に理解がされていなかったことにより、数値目標を達成できなかった。今後、整備済みの防災関連施設のPRを実施することで、防災面に関する住民満足度の向上を図る必要がある。また、東日本大震災の影響等により、住民の地震や津波への不安等が高まり、数値目標を達成できなかった。今後、地震や津波に対する防災面の対応を更に充実させる必要がある。 道路整備により、地区内の道路が改善されたほか、町道藤江線の整備により地区内から国道366号へのアクセスが格段に改善され、交通環境が向上するとともに、道路・交通に関する住民満足度が向上した。 道路整備により、地区内の道路が改善されたほか、関連事業により飛山池周辺地区の緑化重点地区保全事業が完了し、三丁公園の整備が進捗しつつあること等により、緑豊かで心安らく快適な生活環境が向上するとともに、地域住民が感じる地区の生活環境が事業前と比較して向上した。 								
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 整備済みの道路や藤江消防分団詰所について、地域住民と協働して維持管理を実施していく。 道路・交通の安全性や通行性を更に改善するため、道路の未整備箇所の整備を促進する。整備済み箇所においては、地域住民と協働して維持管理を実施していく。 未整備の道路や公園の整備を推進し、生活環境の向上を図る。 整備済みの公園について、地域住民と協働して維持管理を実施していく。 整備済みの防災関連施設のPRにより、防災面に関する住民満足度の更なる向上を図る。 津波被害への対応策のPRや、未耐震の木造住宅の耐震改修の促進等により、地域の防災性の向上と、防災面に関する住民満足度の更なる向上を図る。 								